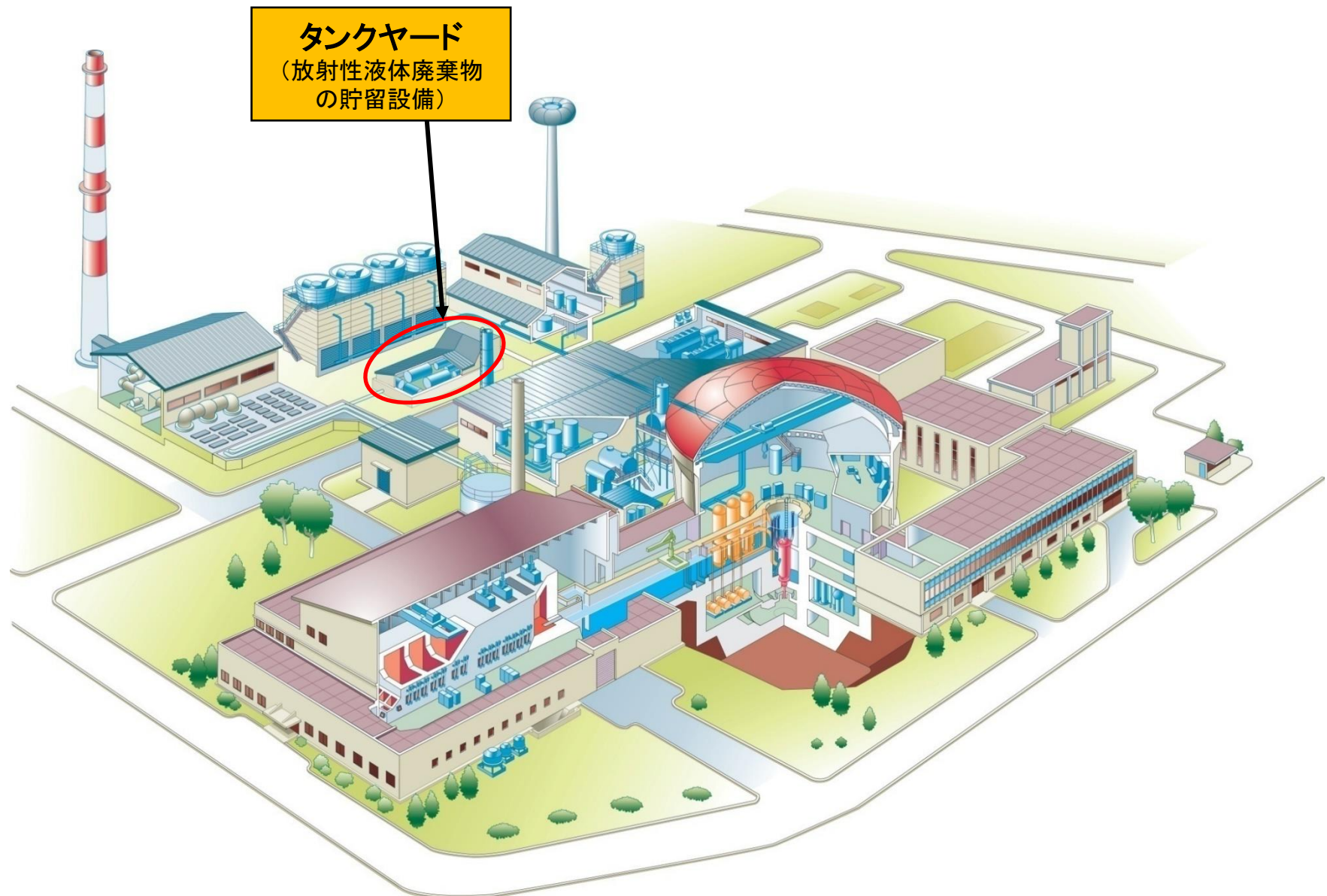




# 材料試験炉 (JMTR)

排水系統及びタンクヤードの概要

# JMTR施設配置図

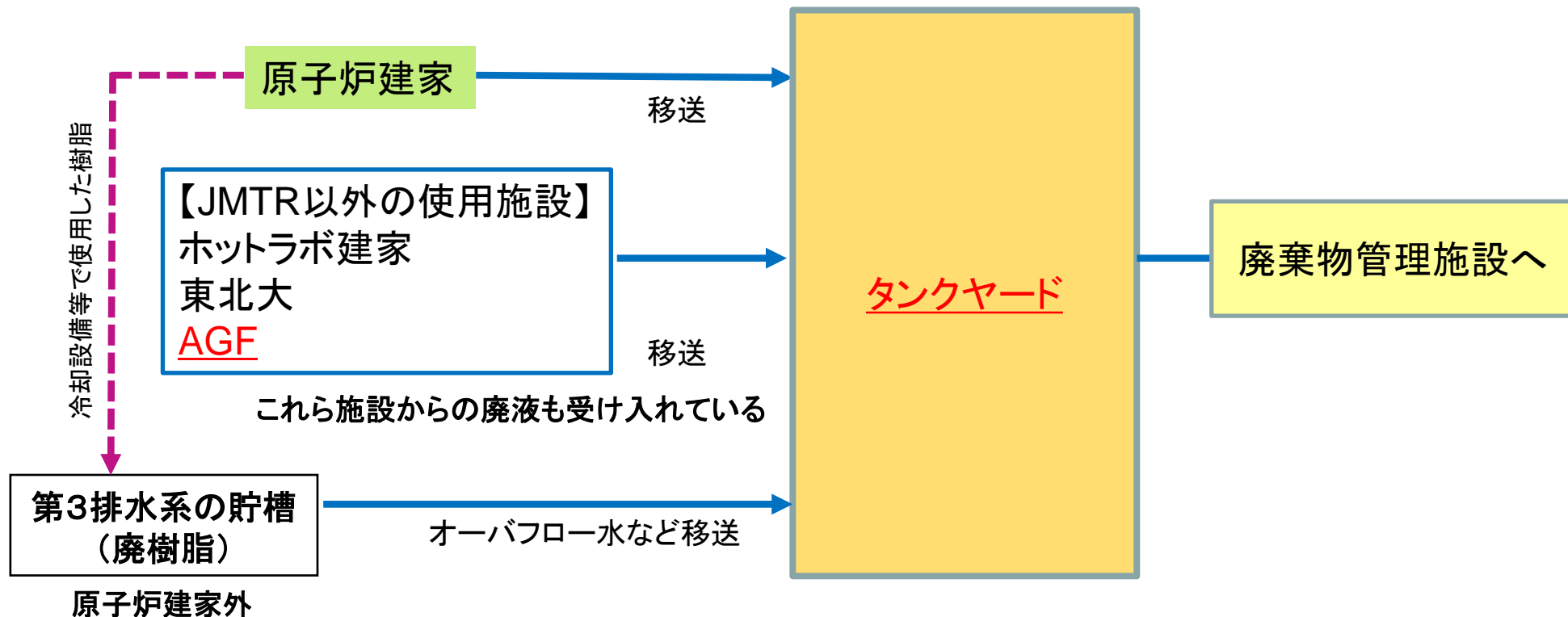


# 排水系統

原子炉建家、その他管理区域で発生した放射性廃液を一時貯留し、廃棄物管理施設に輸送するためのもの。 JMTRから廃棄物管理施設までの輸送は配管輸送とタンクローリー車輸送（高レベル）とに分けられる。

原子炉建家内で発生した放射性廃液は、原子炉建家地下4階の排水貯槽を經由してタンクヤードの廃液タンクに送水される。

廃止措置段階においても、排水系統は引き続き維持することとしている。



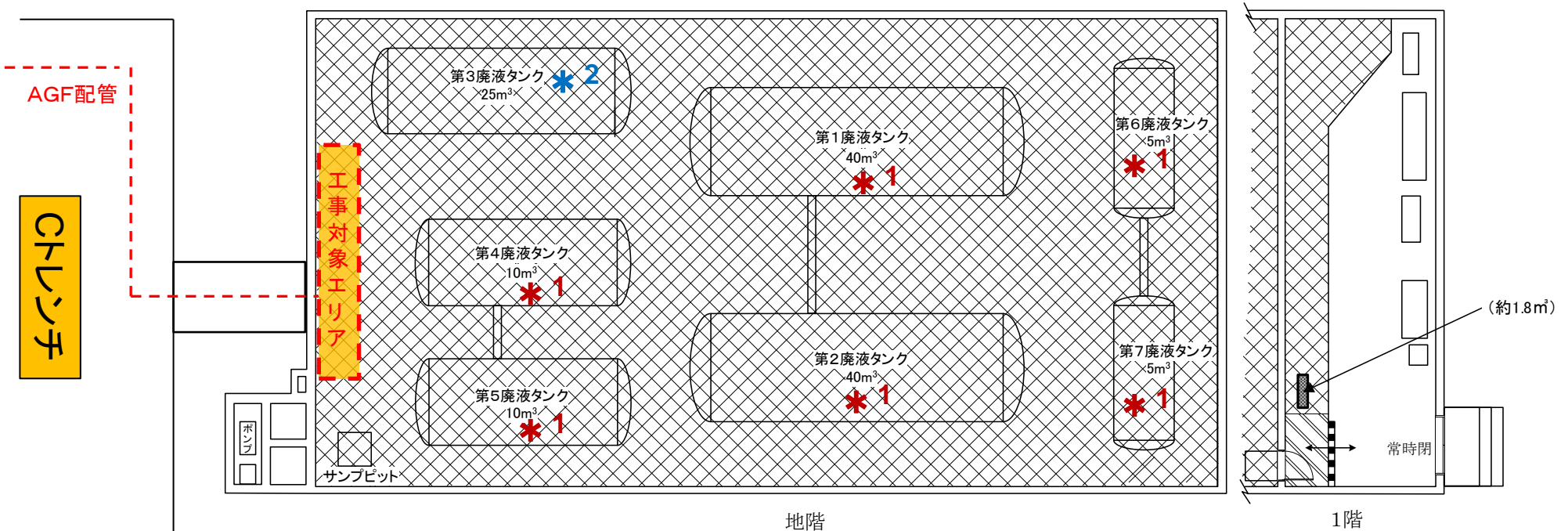
# 廃止措置計画の記載

表 7-1 性能維持施設の位置、構造及び設備並びにその性能並びにその性能を維持すべき期間 (5/9)



施設区分	設備等の区分	設備 (建家) 名称	維持 台数	位置及び構造	維持機能	性能	維持期間	
放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	第1排水系	貯槽	1基	位置：原子炉建家 貯槽容量：約180m <sup>3</sup>	放射性液体廃棄物の貯留機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯槽に漏えいがなく有害な損傷等がないこと。</li> <li>ポンプの作動に異常がないこと。</li> </ul>	管理区域を解除するまで
			排水ポンプ	1台	位置：原子炉建家 形式：堅型渦巻 容量：約70m <sup>3</sup> /h			
		第2排水系	貯槽	2基	位置：原子炉建家 貯槽容量：約40m <sup>3</sup> (20m <sup>3</sup> /基×2)			
			排水ポンプ	2台	位置：原子炉建家 形式：堅型渦巻 容量：24m <sup>3</sup> /h			
		第3排水系 (I)	貯槽	1基	位置：第3排水貯槽 (I) 貯槽容量：約200m <sup>3</sup>	放射性液体廃棄物の貯留機能		
		第3排水系 (II)	貯槽	1基	位置：第3排水貯槽 (II) 貯槽容量：約220m <sup>3</sup>	放射線遮蔽機能 <sup>※1</sup>		
			排水ポンプ	1台	位置：第3排水貯槽 (II) 形式：堅型渦巻 容量：24m <sup>3</sup> /h			
		第4排水系	貯槽	1基	位置：原子炉建家 貯槽容量：約20m <sup>3</sup>	放射性液体廃棄物の貯留機能		
			排水ポンプ	1台	位置：原子炉建家 形式：堅型渦巻 容量：24m <sup>3</sup> /h			
	タンクヤード 廃液タンク	貯槽	6基	位置：タンクヤード 貯槽容量：約110m <sup>3</sup> (約40m <sup>3</sup> /基×2、約10m <sup>3</sup> /基×2、約5m <sup>3</sup> /基×2)	放射性液体廃棄物の貯留機能			
排水ポンプ		6台	位置：タンクヤード 形式：堅型渦巻 容量：約24m <sup>3</sup> /h					
固体廃棄物の廃棄設備	保管廃棄施設		1式	位置：原子炉建家、タンクヤード、除染施設 容量：本文四 図4-2に記載の値	放射性固体廃棄物の保管機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>保管廃棄施設の容量が確保できていること。</li> </ul>	全ての放射性固体廃棄物が搬出されるまで	

※1：貯槽のみの維持機能とする。

# タンクヤード



- \* 1: 性能維持施設
- \* 2: 第3廃液タンクは、廃液の受入れを行わないため、不使用(閉止処置済み)

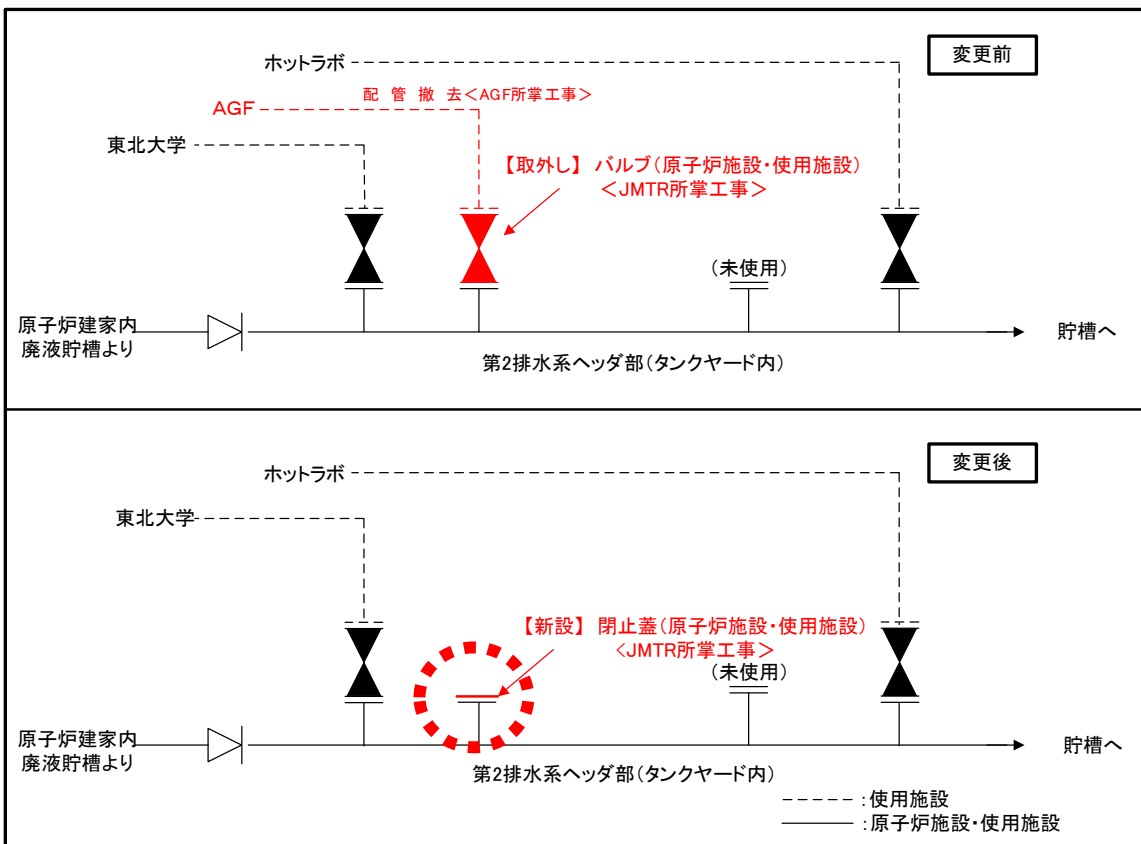
 管理区域  
 保管廃棄施設  
 ( )内の数値は、保管廃棄施設の容量を示す。

原子炉建家

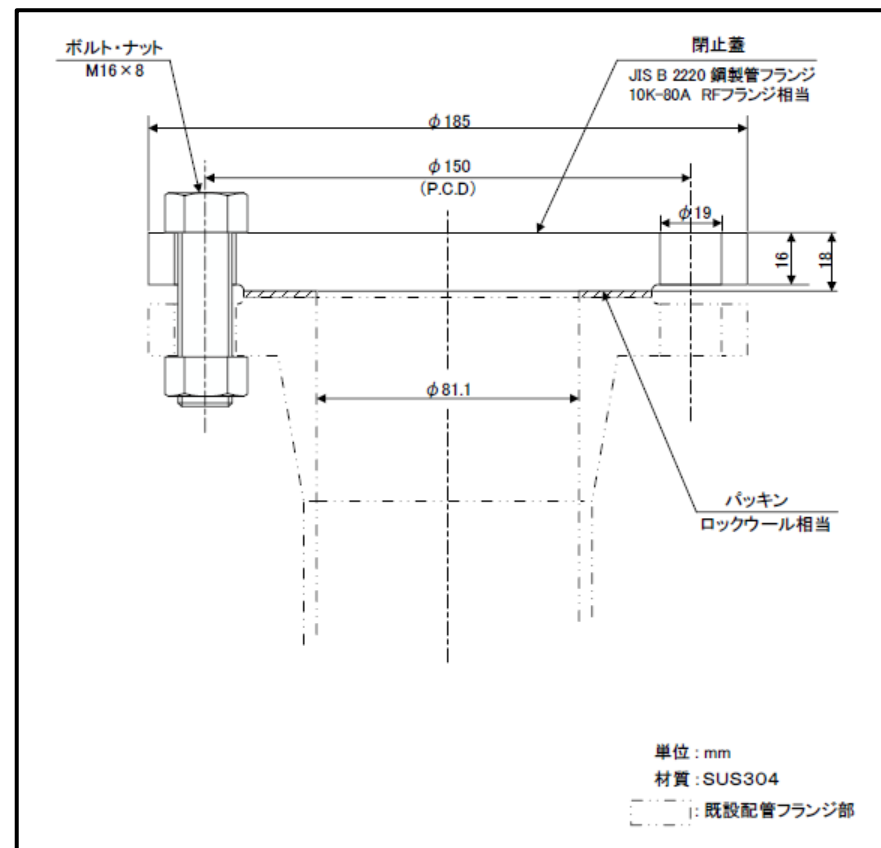
タンクヤード内廃液タンク配置図(概略)

# 参考

## <工事概要及び閉止蓋の構造>



タンクヤード内のバルブ取外し及び閉止蓋取付工事(概略図)



閉止蓋の構造(概念図)